

2024年3月26日

住友理工、2023年度にグループ全体で太陽光発電を 1.6倍に増強

～グローバル7拠点に太陽光発電設備を導入～



東海化成工業株式会社に設置した太陽光パネル

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、カーボンニュートラルに向けた取り組みを促進するため、グループ全体で太陽光発電設備の導入を拡充しています。

当社グループでは、2029年度までに、Scope1+2のCO₂排出量30%減（2018年度比）およびScope3のCO₂排出量15%減（同）、そして再エネ電力比率の2.5%増（2022年度比）を目標としています。2023年度は新たにグローバル7拠点に計6.2MWの太陽光発電設備を導入し、発電容量は累計16.2MW（2022年度比1.6倍）、年間のCO₂排出削減量は8,000[t-CO₂]となる見込みです。

当社グループは、「自然と都市と人の空間が繋がる グリーンで快適な社会」を目指すべき未来社会像に掲げ、サステナビリティ経営を進めています。2050年カーボンニュートラル実現に向けて、今後も太陽光発電の増強を進めるとともに、グリーン電力調達を幅を広げて中長期的な競争力の維持・獲得を見据えつつ、さらなるCO₂排出削減に向けて取り組んでまいります。

<2023年度稼働の太陽光発電設備導入拠点>

(国内拠点)

- ・東海化成工業株式会社 [岐阜県可児郡御嵩町]
- ・株式会社住理工九州 [大分県豊後高田市]

(海外拠点)

- ・環宇東海橡塑(天津)有限公司 [中国]
- ・SumiRiko Vietnam Co., Ltd [ベトナム]
- ・SumiRiko Eastern Rubber (Thailand) Ltd. (IPP Plant および ESIE Plant) [タイ]
- ・SumiRiko Rubber Compounding (Thailand) Ltd. [タイ]

以 上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車(モビリティ)分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>